

プロポーザル評価基準

審査項目		評価基準	配点
業務の理解 度・意欲	(1) 業務目的の理解・地 域特性への配慮	○市内企業の人手不足や女性の活躍推進、人材流出防止とい う本事業の背景・目的を深く理解しているか。 ○地域の産業構造や企業のデジタル化の現状、求職者のニーズ を踏まえた提案になっているか。	10
提案内容の具 体性・実現性	(2) 企業向け支援	○アンケート、セミナー、WSの連動性が高く、15社以上のヒアリ ングや7件の伴走支援を確実に達成する具体策があるか。テレ ワーク阻害要因の特定や業務の棚卸し手法が的確(実効的) か。	15
	(3) スキルアップ講座	○計5回以上のカリキュラムが実務に直結しているか。アーカイ ブ配信、オンライン相談、託児・見守り等の配慮が具体的かつ効 果的か。適切なキャリア支援(面談等)のフローがあるか。	15
	(4) 業務再設計・トライ アル支援	○企業の切り出し業務と、受講者のマッチング・伴走支援・定着 フォローアップの手法が現実的かつ丁寧か。	10
実施体制・専 門性	(5) コーディネーターの 資質・組織体制・ バックアップ	○配置予定のコーディネーターが「女性の再就職支援」「デジタ ルスキルアップ研修」「テレワーク導入支援」において十分な実 務経験と専門知識を有しているか。 ○人員配置やスケジュール管理、関係機関(商工会議所等)と の連携体制、機器・ソフトの手配能力が整っているか。	15
独自提案・付 加価値	(6) 成果最大化のため の追加提案	○委託経費の範囲内で、事業の効率化や成果の最大化(例: マッチング率向上の工夫、事業終了後の持続的な仕組みづくり など)に資する独自の優れた提案があるか。	10
会社概要・業 務実績	(7) 同種・類似業務の実 績	○過去に自治体や公的機関等において、就業支援、デジタル人 材育成、企業のテレワーク・業務効率化支援などの類似業務を 安定して遂行した実績・信頼性があるか。	10
業務経費	(8) 見積額	○得点=(最低見積額÷当該審査対象者見積額)×15 *最低見積額は、審査対象者のうち、失格となっていない者の金 額を参照する。 *得点は、小数点以下切り捨てにより算出する。	15
合 計			100